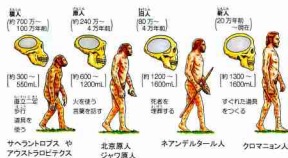


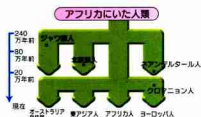
人類の出現と進化

サルが進化して人になった？

人類の進化と脳の容積の変化



人類アフリカ単一起源説



人類の起源に関しては、「現代人は、20万年前ころにアフリカで誕生した新人の子孫であり、その新人が世界各地へ拡散した」という説が有力です。

アフリカから世界に広がった新人



氷河時代を想像しよう

- ・ 地図帳のp.157から気候区の特徴を読み取ろう
- ・ 氷期の日本は、現在より10℃くらい低かったとすると

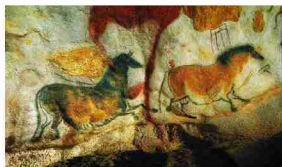
気候区	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年
亜寒帯	-10.0	-9.0	-8.0	-7.0	-6.0	-5.0	-4.0	-3.0	-2.0	-1.0	-0.5	-0.2	-2.5
冷帯	-15.0	-14.0	-13.0	-12.0	-11.0	-10.0	-9.0	-8.0	-7.0	-6.0	-5.0	-4.0	-7.5
寒帯	-20.0	-19.0	-18.0	-17.0	-16.0	-15.0	-14.0	-13.0	-12.0	-11.0	-10.0	-9.0	-11.5
亜寒帯	-10.0	-9.0	-8.0	-7.0	-6.0	-5.0	-4.0	-3.0	-2.0	-1.0	-0.5	-0.2	-2.5
冷帯	-15.0	-14.0	-13.0	-12.0	-11.0	-10.0	-9.0	-8.0	-7.0	-6.0	-5.0	-4.0	-7.5
寒帯	-20.0	-19.0	-18.0	-17.0	-16.0	-15.0	-14.0	-13.0	-12.0	-11.0	-10.0	-9.0	-11.5
亜寒帯	-10.0	-9.0	-8.0	-7.0	-6.0	-5.0	-4.0	-3.0	-2.0	-1.0	-0.5	-0.2	-2.5
冷帯	-15.0	-14.0	-13.0	-12.0	-11.0	-10.0	-9.0	-8.0	-7.0	-6.0	-5.0	-4.0	-7.5
寒帯	-20.0	-19.0	-18.0	-17.0	-16.0	-15.0	-14.0	-13.0	-12.0	-11.0	-10.0	-9.0	-11.5

氷期の日本は何気候区だったのか

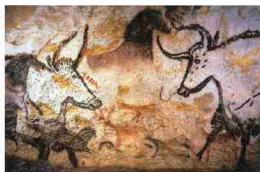
157 気候区の数値

気候区	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年
亜寒帯	-10.0	-9.0	-8.0	-7.0	-6.0	-5.0	-4.0	-3.0	-2.0	-1.0	-0.5	-0.2	-2.5
冷帯	-15.0	-14.0	-13.0	-12.0	-11.0	-10.0	-9.0	-8.0	-7.0	-6.0	-5.0	-4.0	-7.5
寒帯	-20.0	-19.0	-18.0	-17.0	-16.0	-15.0	-14.0	-13.0	-12.0	-11.0	-10.0	-9.0	-11.5
亜寒帯	-10.0	-9.0	-8.0	-7.0	-6.0	-5.0	-4.0	-3.0	-2.0	-1.0	-0.5	-0.2	-2.5
冷帯	-15.0	-14.0	-13.0	-12.0	-11.0	-10.0	-9.0	-8.0	-7.0	-6.0	-5.0	-4.0	-7.5
寒帯	-20.0	-19.0	-18.0	-17.0	-16.0	-15.0	-14.0	-13.0	-12.0	-11.0	-10.0	-9.0	-11.5
亜寒帯	-10.0	-9.0	-8.0	-7.0	-6.0	-5.0	-4.0	-3.0	-2.0	-1.0	-0.5	-0.2	-2.5
冷帯	-15.0	-14.0	-13.0	-12.0	-11.0	-10.0	-9.0	-8.0	-7.0	-6.0	-5.0	-4.0	-7.5
寒帯	-20.0	-19.0	-18.0	-17.0	-16.0	-15.0	-14.0	-13.0	-12.0	-11.0	-10.0	-9.0	-11.5

ラスコー洞窟(フランス)の壁画1



ラスコー洞窟(フランス)の壁画2



ラスコー洞窟(フランス)の壁画3



アルタミラ洞窟(スペイン)の壁画1

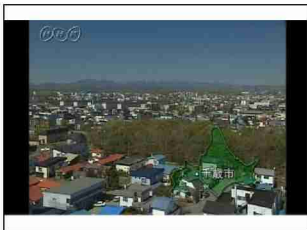


アルタミラ洞窟(スペイン)の壁画2



アルタミラ洞窟(スペイン)の壁画3





打製石器(黒曜石製)と製作用具の石



後期旧石器時代・北海道白糠郡白糠町出土
資料出所・岡村道雄『石器の鑑別』講談社 1998年 p.37より。

打製石器(サヌカイト製ナイフ)



アイヌ文化資料館蔵
厚岸町遺跡に3点並んで残された国産型ナイフ形石器
(大館市博物館蔵) (旧石器時代) (2万年前)

打製石器(サヌカイト製・尖頭器)



縄文時代早期
奈良県上津大万刈遺跡出土
尖頭器

縄文時代早期の磨製石斧

上野原遺跡出土の石斧
縄文早期・熊谷町蔵
磨製石斧・長径六・八センチ
幅二センチ



打製石斧と磨製石斧(縄文時代)

打製石斧

局部磨製石斧



長野県唐沢B遺跡出土

石皿 と 磨石（縄文時代）



磨製石器の登場は何を意味するか

- 打製石器の原料になる石材はどこにあるか
- 打製石器ではなく、磨製石器を作るようになったのはなぜか
- 磨製石器の原料は何か
- 磨製石器だと有利なのは何か
- 磨製石器は主に何に使ったのか